

令和元年度 施策評価検証シート

評価年月日 令和元年8月8日

			部会名	暮らし部会
施策No.	2-4-3	施策名	交通安全の推進	施策主管課 市民生活総合相談センター
施策の目指す姿		交通事故が少なくなっています		
<p>■ 施策評価シート(平成30年度実績評価)について</p> <p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check=評価」⇒「Action=見直し」が機能しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(前年度評価時の今後の方向性)」と「(反映状況)」とが対応するように記載すべきである。具体的には、1つ目の「交通指導員の数を確保する」という方向性に対し、「負担軽減に努めた」とあるが、「負担軽減に努め、〇名確保した」などと記載してはどうか。 <p>「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～に努める」という表現があるが、効果のある手立てが必要であり、具体的に何をするのか記載すべきである。 ・交通指導員の確保については、なり手がいない理由を明確にした上で、その解決策や新たな事業などが記載されているとわかりやすい。 ・交通指導員数の確保ばかりではなく、数が少ないなりの取組をしていくという考え方もあるのではないか。 <p>「3 成果指標の達成状況」の「(達成状況に関する背景・要因)」の分析が的確に行われているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者交通事故(人身)件数」の成果指標の達成度「c」に関しては、高齢者が歩行者(被害者)の場合が多いとの説明があったことから、「高齢者免許人口の増加」だけが要因とは言えないのではないか。 <p>「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・的確に行われている。 ・「交通安全教室」において「交通事故を身近に捉える工夫」に関連した参考意見として、一般的には交通事故の悲惨さなどを伝える内容が多いと思われるが、交通安全の価値を伝えるようなポジティブな内容があっても良いのではないか。 <p>●シート記載内容全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「交通事故(物損)件数」については、高齢者の割合が半数程度であるとのことから、施策の目指す姿の達成に向けて、残り半数の高齢者以外の観点の分析も必要ではないか。高齢者ばかりに事故の要因があるかのような誤解を与えないよう配慮が必要である。 				